

連合会主催

派遣・運転会員対象

「運転技能講習会」実施

12月12日～14日

北陸唯一の最新式
「オブジェシステム」
による安全診断

去る12月12日から3日間、羽咋勤労者総合福祉センターで連合会主催の「運転技能講習会」が開催されました。

近年、石川県内でも派遣業務の拡大に伴い「運転業務従事会員」の増加が著しく、これまで幸いに重篤事故の発生はないものの、他車との衝突事故や自損事故が発生しています。

そこで、派遣運転会員の「安全意識醸成」と「運転技能向上」を図るため、昨年に引き続き連合会が県内各地で講習会を開催しています。

羽咋会場では、日頃、通園・通学バスや不燃物運搬トラックなど運転業務に従事している会員23名が受講しました。

今回の講習会では、最新鋭機材「オブジェシステム」を搭載した七尾自動車学校の教習車に乗り、市内を走行し、ビデオを見ながら指導員の説明に耳を傾ける受講生の皆さん技能診断を受けました。



検査機器による診断



GPSを搭載したマイクロバスに乗り、運転操作などをチェック

12月13日、金沢でも
運転男性(85)軽傷

全国で相次ぐ高齢ドライバーの重大事故

10月末に横浜市で発生した高齢ドライバーによる死傷事故以降、全国各地で高齢ドライバーによる事故が社会問題となっています。

件数ではなく割合増加

背景に進む高齢化

「高齢者だから」事故が増えたわけではありません。

▪ 若者も含めた死亡事故全体の数が減少

▪ 高齢化により高齢ドライバーの人数が倍増

死亡事故全体に占める高齢ドライバーの割合が伸びた

「自分は絶対事故を起こさない！」という自信よりも「自分も気をつけよう！」という謙虚な気持ち、心の余裕がありますか？



～交通マナーアップいしかわ～

年末の交通安全県民運動

12月11日(日)～12月20日(火)

運動の重点

- 高齢者の交通事故防止
- 夕暮れ時と夜間の交通事故防止
- 飲酒運転の根絶
- 冬道の安全走行の徹底
- 後部座席を含めた全ての座席のシートベルトとチャイルドシートの正しい着用の徹底

交通事故の被害者はもちろんのこと、加害者にもならないよう心がけましょう。

(公社)石川県シルバー人材センター連合会は、この運動の推進団体に加盟しています。

安全運転の大切さをあらためて実感！

高齢者ドライビングスクールに14名参加

～ 10月18日、羽咋自動車学校 ～

日頃の自動車の運転技能をチェックし、今後の安全運転に活かすため、受講を呼び掛けたところ、今年は男性8名、女性6名、計14名が受講しました。

講義と路上走行で約2時間の講習会でしたが、参加した皆さんにとっては日頃の自分自身の運転を見直す良い機会となったようで、中には早速「来年もぜひ受けたい」と話す会員もいました。

路上走行終了後に教室に戻った受講生は、羽咋自動車学校の中川仁副校長さんから、日常走行における安全運転のチェックポイントなどの説明を受けた後、修了証を受け取りました。



教習車に乗って構内を走行



教室で講義を聞く受講生の皆さん

【参加者の声】 安達彰良（安全・適正就業委員、中川町）
自動車学校の教習コースを48年ぶりに走行して、「完全に止まる・見る・確認のタイミング」等、教官に見られている緊張感から、手に汗をかいた10分間でした。
普段から慌てずに、走行中の信号や各種標識を適正に見極め、きちんと守ることの大切さを改めて痛感しました。

連合会主催「平成28年度 先進地視察研修」～ 福井・高浜町シルバーを訪問 ～

去る11月10日、県下14センターと連合会職員の計40名の視察団が福井県の高浜町シルバー人材センターを訪問しました。

高浜町SCは、設立10年のまだ歴史の浅いセンターながら、安全就業については積極的に取り組んでいます。

この視察研修には、当センターから出口隆一副理事長、山崎悟（安全・適正就業委員長）、川浪和雄同副委員長の3名が参加しました。

その参加レポートの中から概要をご報告します。



高浜町SCの皆さん（左）と石川県シルバー視察団（右）

安全就業に対する主な取り組み	
① 安全講習会の受講を義務付け	⇒ 受講しないと就業を斡旋しない。
② 1日の作業は原則4時間	⇒ ゆとり就業の反面、発注者の理解を要する。
③ 就業年齢の制限を規定	⇒ 職種ごとに年齢制限を設ける。
④ 作業班の編成	⇒ 地区、職種ごとに班を編成、人員不足は相互調整
⑤ 罰則規程の適用	⇒ 着衣・装備等の違反には就業停止期間を適用。

視察研修に参加して

- ・安全就業推進のため規程を設けて運用するなど、積極的な活動を展開している。その一方で、一部職種では会員が減少し、受注を断る状況。
- ・新規入会者は、施設管理など屋内での就業希望が多く、剪定や草刈など屋外作業は敬遠される傾向がある。
- ・今は高齢者の多い高齢化時代なのに、なかなか会員が増えない。現状では厳しい規程等を設けるのを難しいと思った。

今年度の事故発生状況

No	事故発生日	事故区分	事故のあらまし
4	9月16日	傷害 (工作中)	庭木剪定中に突然飛来したスズメバチに右親指を刺された。
5	9月23日	傷害 (工作中)	庭木剪定中にチャドクガに気付かず近づいたところ毒針毛が肩や腕などに付着して赤みのある湿疹と強い痒みの症状が出た。
6	10月25日	賠償(派) (工作中)	マイクロバスを方向転換するためにバックしたところ駐車中の軽自動車に接触した。

編集後記

時の経つのは早いもので、この便りが皆さんのお手元に届く頃にはもう師走も半ば。皆さんにとってこの一年はどんな一年だったのでしょうか。会員皆さんの安全就業を願う気持ちは委員一同、年が改まっても変わることはありません。この一年、お疲れ様でした。そして来年も皆さんのご活躍とご健康をお祈りいたします。

- | | | | |
|------|-------|----|-------|
| 委員長 | 山崎 悟 | 委員 | 寺本 盛夫 |
| 副委員長 | 川浪 和雄 | 委員 | 細川 秋雄 |
| | | 委員 | 安達 彰良 |



このマーク、ご存知ですか？

70歳以上の高齢ドライバーが車に表示する「高齢者マーク」。正式名称は「高齢運転者標識」。表示義務はありませんが、このマークを表示した車に対する無理な割り込みや幅寄せなどは禁止されており、警察庁は貼付を推奨しています。

安全就業に関する皆さんの「ちょっとしたアイデア」や経験談を事務局までお寄せください。